

## 令和2年度第2回 四條畷市公共施設再編検討会

### <会議録>

開催概要	
■日時	令和2年10月3日(土)10時00分～12時10分
■場所	四條畷市役所 本館3階 委員会室
■出席者	検討委員 小田切康彦委員長、小寺勝副委員長、佐々木厚司委員、 大年弘子委員、石井政彦委員、市林朋代委員、守屋隆委員、 福井健人委員、澤野誠委員、田村房子委員、山口久美子委員、 川勝寛也委員、長谷晏奈委員、田中耕司委員、三輪真委員
	事務局 四條畷市 林副市長 四條畷市 総務部 施設再編室 西口部長兼室長、北田課長、古市主任、田ノ上 (コンサルタント) (株)ニュージェック 上原、柴原、杉本
■傍聴者	10名 / 定員16名
■議題	第1 開会 第2 前回の議論の振り返り 第3 四條畷市公共施設再編検討会の検討事項について 第4 その他
■資料	・次第 ・(資料1)前回の議論の振り返り ・(資料2)四條畷市南中学校跡地について ・(参考)四條畷市防災マップ

## 議事詳細

### 第1 開会

事務局(司会)

おはようございます。それでは定刻になりましたので始めさせていただきます。  
本日は休日にもかかわらず、委員の皆様には大変お忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。ただいまから令和2年度第2回四條畷市公共施設再編検討会を開催いたします。

まず議事に入ります前に事前に郵送でお配りしている議事資料の確認をさせていただきます。1点目、次第。2点目、資料1「前回の議論の振り返り」。3点目、資料2「四條畷南中学校跡地について」。4点目に、参考として「四條畷市防災マップ」。本日の会議資料につきましては以上でございます。

では次に、本日の検討会委員の出席状況についてご報告させていただきます。本日の出席状況ですが、検討会委員総数15名中、出席委員14名でございます。また、澤野様につきましては、ご連絡いただいております。少し遅れての参加とさせていただきますので、ご理解とご協力よろしく願いいたします。以上によりまして、検討会委員総数の過半数の出席をいただいておりますので、四條畷市公共施設再編検討会規則第3条第2項の規定に基づき、本日の会議が成立していることをご報告いたします。

傍聴者をお願い申し上げます。会議における言動に対して拍手等により、賛否を表明したり、騒ぎ立てないこと。また、みだりに席を離れたり迷惑をかける行為は避けていただくようお願いいたします。また、本日の資料につきましては、傍聴席にご用意しておりますのでご自由にお持ち帰りいただいて構いません。

それでは委員長、議事進行のほどお願いいたします。

## 議事詳細

### 第2 前回の議論の振り返り

小田切委員長

はい。皆さんおはようございます。土曜日にもかかわらずお集まりいただき、ありがとうございます。今日もどうぞよろしく願いいたします。

それでは早速ですけれども議事の方に入っていきたいと思います。

まず、第1号「前回の議論の振り返り」ということで、委員会ごとに少し期間があきますので、振り返りの時間を設けていただいております。事務局の方で説明をよろしく願いいたします。

事務局

前回の再編検討会におきまして、種々貴重なご意見をいただきありがとうございました。まずは、皆様に事前にご確認をいただきました議事要旨に基づき前回の振り返りを行います。

資料1の2頁をご覧ください。第1回検討会におきましては、個別施設計画の内容をもとに、今後の人口動態や財政状況を踏まえまして、施設総量の最適化を行っていく必要があること、これまで取組経過について、そして、検討会においてご議論いただきたい15施設の施設概要等のご説明をさせていただきました。

それに対する、委員の皆様からのご感想、お考えとして、右側に記載の内容をいただきました。

主なご意見としては、検討を進めるにあたっての視点については、予算を削減しながら、施設に対する市民の満足度を上げていくことであり、検討の原理原則的な考えとして、「施設の多目的な利用」「広域化（近隣市との連携）」「民間の活用（民間施設をうまく使う等）」といったハード整備以外の視点を持つこと

## 議事詳細

も重要だとのこと意見。

南中学校跡地については、活断層に関する事、避難所に関する事

これまでの検討経過については、これまでの経過において、ワークショップや意見交換会での意見が計画に反映されていない側面もあり、この検討会の機会を無駄にしないためにも、委員の意見を大切に、反映していただきたいとのこと意見。

また、これだけ知見のある委員が揃っているため、是非市長にも最後まで聞いていただき、将来のあるべき方向性について、意見を反映していただきたいとのこと意見をいただきました。

加えて前回会議におきまして、今後、検討をしていくにあたり必要な資料等の請求がございましたので、説明いたします。

3頁をご覧ください。

田中委員、川勝委員、大年委員から3点の内容について、いただいております。

4頁をご覧ください。

先ず、1点目の田中委員からいただきました、「平成22年～平成27年における人口減少の要因について」ですが、確認しましたところ、国勢調査におきましては、それぞれの調査時点の人口等を調査しますが、その調査からは、人口の増減、減少となる要因の特定は難しい状況です。

というものです。人口統計というのが一つの要因によって、左右されるものではなく、社会増や社会情勢など、様々な要因を受けて、出てくるものなので、一つの要因をもって人口が増加、減少したということ进行分析することは難しいと考え

## 議事詳細

ています。

そのため、要因を一定推測できるようにするために、平成29年から転入・転出にされる方に対して、その理由を問うアンケートを取りまして、理解するように努めているところです。

なお、参考ではございますが、住民基本台帳のデータで考えると、自然減、社会減と推測します。

5頁をご覧ください。

推測に至る補足資料となりますが、こちらは四條畷市人口ビジョンでございます。上のグラフは、出生、死亡数の推移を表し、2010年以前は自然増。以降は2012年を除き、自然減が続きます。下のグラフは、転入、転出の推移を表し、2010年以前は転入と転出が拮抗。以降は社会減が続きます。

2018年以降は、先ほど説明した転入の一因や、転入検討者に対する市の魅力発信に一定の成果が出たという推量ではありますが、社会減がゆるやかになっており、2018年、2019年は社会増となっています。

次に、6頁をご覧ください。

川勝委員からいただきました、コロナ禍を踏まえた災害時避難スペースの規模に関する質問の資料でございます。コロナ禍における避難所面積は示されているのかとの問いについて、本市では、「大阪府避難所運営マニュアル作成指針」をもとにコロナ禍における避難所運営マニュアルを策定する過程にあります。

「大阪府避難所運営マニュアル作成指針」には、主に「新型コロナウイルスを知る」、「多様な避難所等の確保」、「避難所における感染防止」の3つが挙げ

## 議事詳細

られ、その中で、面積の考え方として、3点目の「避難所における感染防止」に「避難所における『人と人の距離の確保（世帯間で1～2m以上の間隔、一人当たり4㎡程度を目安）』と記載されています。

本市においても、この考え方をもとに今後は一人あたり4㎡程度を目安に考えていきます。

7頁をご覧ください。

このページで2箇所、修正させていただきます。

平成29年度策定と記載しているところ、ページのタイトルの下のところと、ページ下のところの2箇所です。正しくは平成29年度修正でございます。

こちらの地域防災計画に記載している指定避難所の床面積と収容人数の一覧でございます。

本市の人口、本年8月末時点でございますが、55,546人でございます。

避難所の総収容人員は、12,827人、約1万3千人でございます。

そのうち、旧四條畷南中学校及び旧四條畷東小学校の避難者の総収容人数は、673人と900人を足した合計1,573人となっています。

必要な床面積の算定式については表の下の※印に記載しておりますが、現状では、一人に対して1.6㎡の面積として算定いたしますが、先ほど申し上げたようにこの値は、今後4㎡に見直していきます。

それと、避難収容人数については、市域全体で現状、約13,000人の収容人数でございますが、必要となる避難収容人数は、生駒断層系の被害想定として6,918人を確保していくものでございます。

そのため、4㎡に見直したうえで、市域全域で6,918人分床面積を確保して

## 議事詳細

いくことを前提としており、既存の公共施設を活用して、これを確保していく考えです。

よって、市域全体で避難者想定人数を確保していくため、今ある面積を確保していくことが全体に与える影響が少ないと考えています。

次に、8頁をご覧ください。大年委員からいただきました予算関連に関するご質問ですが、個別施設計画の18頁にも同様の内容を記載しております。次世代に公共施設を引き継ぐため、施設の質と量、コストの最適化、将来的な財政負担の縮減と平準化を図るため、将来更新費用の縮減を図っていくものでございます。ページの右上に※印の注釈を入れていますが、将来更新費用とは、今後の公共施設等の更新に係る費用のことであり、維持管理費用、例えば施設維持に関する人件費、光熱水費、清掃等委託料、修繕料等は、含まれていません。

試算の前提条件の考え方等については、個別施設計画の20頁と88頁から104頁にかけての公共施設の劣化調査結果(概要)に詳細を記載しています。

この将来更新費用の348.5億円(年間8.9億円)を273億円(年間7億円)へ、75.5億円(年間1.9億円)の縮減をめざしていくことを前回の検討会において、ご説明させていただいたところです。

特に、2029年から2041年にかけては、更新等に係る支出が大きくなってくるため、目標値と比較すると、総額約76億円の削減を短期の後期、2025年以降に取り組んでいく必要があります。

次に9頁をご覧ください。

まず、グラフの見方ですが、8頁のグラフをベースに2つの内容に分けてみまし

## 議事詳細

た。

凡例の一番上、白抜きで破線の囲みがあるものと着色部が一体となっているもの、これは8頁のグラフの内容と同じでございます。

凡例の真ん中、白抜きの破線で囲っているもの、これが、いわゆる、国の補助金制度を活用した場合に得られる補助金相当額です。

補助金は、いわゆる市が何か事業をしようとした場合に国の制度を活用して、事業費の一定の割合を補助金として頂けるものです。

この補助金の試算に関しては、小中学校の建替や長寿命化改修工事、いわゆる耐用年数の延命を図る工事に対して補助をいただける現行の制度を参考にして、試算しておりますが、将来に渡りこの制度が現在と同様に続くかどうかは、はっきりと解りかねる状況ではございますが、この試算においては、今後の続く想定のもので、試算いたしました。

なお、小中学校以外の施設については、補助金制度があまりないため、含めていません。

また、補助金とは別に起債という制度があります。分りやすくいうと自治体の借金ということになるのですが、ある一定の条件を満たした借金であれば、借金に対する一定割合分が後年度になって、国から地方交付税として返ってくる制度なのですが、これは、制度の期間が限られていたりし、その時々に応じて最適な起債というのが変わることから、現時点において、その額を試算することが難しいため、この制度による効果は、グラフに反映させていません。

凡例の一番下、着色しているものですが、総額から補助金相当額を差し引いた、市が実質負担する額を示したものでございます。



議事詳細

	<p>補助金として約38億円の歳入を見込まれますが、この額を差し引きしても、目標値には達していない状況です。</p> <p>この補助金に関しては、あくまで将来もある想定のもと試算していますので、仮に将来制度がなくなると、その負担が増えることになるため、実質負担額で考えるのではなく、計画上は、8頁に示す事業費ベースで273億円で縮減していく必要があると考えているところです。</p> <p>以上が前回の会議において、ご依頼いただいた資料の説明でございます。</p>
小田切委員長	<p>ありがとうございました。前回の議論の概要、及び、委員の皆様からご質問があった点について、事務局でご用意いただいたものは、ご説明いただいたかと思えます。</p> <p>では、前回ご質問いただいた方もそうですし、そのほかの皆様でも結構ですが、今の資料或いはご説明について、ご質問・ご意見のある場合は、よろしくお願いたします。</p>
三輪委員	<p>最後の予算の費用に関してのご説明についてなんですが、個別計画の14ページにはすべての建築物を維持する場合、約12億円かかるので、それを年間7億円で圧縮しなくてはいけない、という目標が示されていたと理解していますが、今回の8.9億円というのは、今現在も縮減するプランを立てており、そのプランに基づくと8.9億円になるというふうに理解すればよいでしょうか。</p>
小田切委員長	<p>はい。事務局お願いします。</p>

## 議事詳細

事務局

ただいまのご質問ですけれども、本年1月に個別施設計画を策定させていただきました。2種類の類型に分けられるかと考えております。2種類の類型といたしますが、一つ目は計画上ある程度定めた内容に基づきまして事業を進めていけるもの、もう一つが、事業がまだ整っていないので、今後継続した議論の中で今後のあり方を継続して検討していく施設、というように2種類考えております。

その中で、今まさに検討していただくための土台というのが、この場になっております。500何億が307億になっている経過につきましては、一定進めていけるところの試算をして、反映させていただいているのですが、今まさに議論いただいている施設については、現状維持するという中で試算を示させていただいております。

小田切委員長

はい。よろしいですか。ありがとうございます。

守屋委員

2016年に障害者差別解消法ができて、新しく施設を作っていただける時にエレベーターとかをつけていただけるのだけど、やはり古い施設は、障害者の私たちには、利用しにくいですね。この予算が足りないとかの話聞いていたら、何の意見も言えないなと思ってしまいますけど。多分ハード的に、あまりお金かけるのは無理だと思います。ソフト的というか、合理的配慮をすごく考えていただきたいな、と。今日も僕、ここに来る時、エレベーターからちょっと階段がありまして、市の職員さんが、合理的配慮をしてくれまして、スムーズに来ることができました。そういうことがすごく大事になってくると思います。

## 議事詳細

これから2040年には人口も減るかもしれないけど、高齢者は増えます。これから高齢者も障がい者も、認知症の人も絶対増えますので、そういう人達が家で引きこもりにならないように、楽しい公共施設で遊べるようにしてほしいです。私なんか、「子ども太鼓」とか、いろんなイベントに参加するのをいつも楽しみにしているんです。ただ、ちょっと車椅子席が少ないから、利用しにくいなと思っています。将来やはり医療費も介護資金も増えますので、元気な老人、元気な障がい者が外にどんどん出たら、医療費もかからず元気になるので。僕も家にずっと居たときはしんどかったけど、表に出るようになったら元気になりますので、公共施設は皆にすごく利用していただけるような施設を考えていただきたい。以上です。

小田切委員長

はい、ありがとうございます。非常に重要なご意見いただいたかと思いますが、事務局の方で何かあればお願いします。

事務局

ただいま守屋委員からいただきました内容について、事務局から補足説明させていただきます。

今まさに議論いただいています個別施設計画の検討施設に対してなんですけれども、もともと上位計画に平成28年12月に策定いたしました「公共施設等総合管理計画」というものがございまして、そちらの基本方針の考え方に、大規模改修や更新の際にはユニバーサルデザインに配慮した施設整備に努めていく、ということに記載させていただいております。特に今、守屋委員がおっしゃられましたように、市庁舎は建設してから50年が過ぎておりますので、非常に使い勝

議事詳細

小田切委員長

手が悪いです。今でしたら廊下の幅が狭い、階段の蹴上がりもちょっと高いというような状況でございます。今後は、そういった施設の改善につきまして、本来はすぐに着手できれば一番良いですけれども、やはり財政上の観点等もいろいろございますので、施設整備していくタイミングに合わせまして、その視点を大切に今後は整備に努めてまいりたいと考えておるところでございます。

はい。他の皆様いかがでしょうか。前回ご質問いただいた委員の皆様は事務局からの資料は大丈夫でしょうか。思っていたのと違うとか、回答が違ったとかあれば、この場でご確認いただければと思いますが、いかがでしょうか。もちろん次の議論とも関連しておりますので、もし後でまた質問したいということなら、その時にしていただければいいかなと思います。

それでは、今ご説明いただいた第1の論点につきましては、このあたりにさせていただきまして、第2の検討事項ということで、特に前回多くのご質問があったかと思いますが、南中学校跡地のあり方について、事務局から資料を用意していただいておりますので、説明をよろしく願いいたします。

事務局

はい。それではご説明いたします。

先ず、皆様には、今回、四條畷市の防災マップを参考にお配りさせていただいています。そちらも参考に併せてご確認ください。

では、資料2の1頁をご覧ください。

四條畷南中学校跡地の資料でございます。跡地について、住所、建築年度、築年数、面積の項目を載せた概略データを表記しています。

## 議事詳細

2頁をご覧ください。四條畷南中学校跡地は、シビックエリア内にあります。シビックエリアとは、官庁や公共施設等が集まる地域のことを言います。

次に3頁をご覧ください。

四條畷南中学校跡地を含む西部地域における四條畷市防災マップ(土砂災害、洪水、地震)であり、土砂災害警戒区域(イエローゾーン)、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)、活断層を中心に表記しています。

4頁をご覧ください。

四條畷市防災マップ(土砂災害、洪水、地震)の四條畷南中学校跡地を中心にその周辺を拡大している図です。赤い丸で囲んでいるところが四條畷南中学校跡地になります。ちょうど黄色で着色して扇形になっている範囲が土砂災害警戒区域になっており、四條畷南中学校の名称の右側にやや重なって薄紫色の棒状があるのが活断層になります。

5頁をご覧ください。

こちらは、更に拡大した図面に土砂災害警戒区域と活断層の位置を示しております。

敷地の東側、全体の約6割が土砂災害警戒区域に指定されており、更に東端付近、体育館とプールがある直下に活断層が南北に敷地を縦断しています。

6頁をご覧ください。

先ほどの活断層でございますが、平成30年4月2日から7月31日にかけて、国土地理院の都市圏活断層図に示す活断層が四條畷南中学校の敷地内に存在が推定されていることについて、その有無や分布状況を調査することを目的に実施しました。

## 議事詳細

7頁をご覧ください。

この活断層帯は生駒断層帯であり、その特性については、幅は当時は不明でございました。最新の活動が400～1000年頃と推定され、平均活動間隔が3000年～6000年となっています。それをもととし、今後の発生確率については、およそになりますが、30年以内0.1%、50年以内0.2%、100年以内0.6%、300年以内3%となっています。

8頁をご覧ください。

ボーリング調査及び調査による分析の結果ですが、都市圏活断層図に示される位置とほとんど同じ位置にその形跡が確認され、推定されるゾーンとして約26mの幅があることが判明しました。

9頁をご覧ください。

この活断層について、大阪市立大学大学院理学研究科・理学部 三田村教授より、今後の四條畷南中学校跡地の敷地利用について、大きく3点の見解をいただきました。

①断層をまたいだ位置および断層近傍の施設は、断層のズレによって壊れる可能性があるため、なるべく利用しないことが望ましい。

②新規施設の建設時にはできる限り断層から離れた位置に建設することが望ましい。

③敷地西側は断層の下盤側にあたり、地層が厚く堆積しており、全般的に地震波の増幅により強い揺れが生じやすくなるため、表層には軟弱な地層が分布するため、耐震性は十分に確保すべきである。

との見解をいただいています。

## 議事詳細

また、他の学識にも助言をいただいております、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科の室崎教授からは、活断層、土砂災害警戒区域から離れた位置に地域コミュニティ施設を作ることは、災害時のみの施設ではなく、平常時においても地域利用が図られ、地域コミュニティの醸成が地域防災意識の向上につながることで、また、防災教育という観点から、体験型の防災ミュージアムや防災学習スペースなどがあればよいと思うとの助言をいただきました。

次に、大阪市立大学大学院工学研究科の谷口教授からは、活断層上の建物は使用しない方がいいので、施設撤去後、植栽帯等を整備すればよいということ、また、既存校舎については、断層帯から約18m離れ、耐震性があるので、利活用可能。

土砂災害警戒区域への対策として、東側校舎の利用は、常時滞在するスペースではないよう活用を考えてみてはとの助言をいただきました。

10頁をご覧ください。

土砂災害警戒区域についてですが、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律、土砂災害防止法に基づき大阪府知事が指定を行います。

土砂災害警戒区域、通称、イエローゾーンにおきましては、土地売買時における重要事項説明などが必要なのに対して、土砂災害特別警戒区域、通称レッドゾーンにおきましては、開発行為や建物の建築することについて、規制がかかります。

四條畷南中学校におきましては、土砂災害警戒区域、通称、イエローゾーンにあたり、土砂災害警戒区域内におきまして、建物等を建築することについて

議事詳細

は、規制はございません。

11頁をご覧ください。

ここからは、四條畷南中学校跡地の現状を映像にしてみましたので、ご覧下さい。

(映像視聴)

以上でございます。

小田切委員長

はい、ありがとうございます。映像ということですが、教室とかはないんですね。トイレがメインだったわけですけど。はい、ありがとうございます。いずれにしても、最初は皆さんと一緒に見学に行けたらというようなことも検討されていたみたいですが、今ちょっと状況的に難しいということで、映像でまとめていただいたということかと思います。

それでは、今ご説明いただいた資料と映像も含めてですが、皆さんご質問・ご意見等、自由にしていただければと思います。よろしくお願いいたします。

佐々木委員

丁寧なご説明ありがとうございます。

前回私も要望していたのですが、防災マップがでてきましたので、現状がよくわかりました。先ほども資料の中の白黒ページで紹介されていましたが、土砂災害の警戒区域について、本来はこの黄色で表されているところですけども、一つは、このマップを見ると非常によく分かるのですが、扇形の形状ですね。だから、下流域であるというふうに認識するのですが、この辺の事情がよく分からないので、何か情報があればということで、少し確認です。



議事詳細

まず一つ質問ですけど、この上流域をずっと扇状の右下に見ていきますと、これは谷間ですか。この水系は何になるのでしょうか。それとちょっと詳しくなりますが、南中学校跡地全体の敷地を見たときに、この警戒区域がちょうどグラウンドの真ん中で途切れていますよね。抽象的に幾何形体をぱっと引いて、距離を取ってということだとは思いますが、何かグラウンドの利用において一体的にある程度警戒したほうがいいという判断をされるのか、何か厳密に区分するような違いっていうのがあるのか、現状がどうか、ということを少し気にしています。

それと、この扇状域が非常に広い範囲なんですけれど、やはり小学校区として、どの辺までがここ(南中学校跡地)に依存しているのか、広域避難場所になっていると思いますけれど、国道163号から南についてはかなり依存されるようになりますが、今資料があるかどうか不明ですけれども。

一方で、中学校を中心として、学区の広がりを少し確認する資料があれば非常にありがたいし、このマップの町名でわかるならば、教えていただきたいというふうに思います。

小田切委員長

事務局、お願いします。

事務局

今の3点のご質問等いただいたかと思います。

イエローゾーンの扇形になってくるところの水系と、現状の運動場等の利用に関しての規制関係、避難施設における学校の区域ということですが、まず1点目のイエローゾーンと言われるこの扇形の形状につきましての水系と言われるのが、もともと上流部にございます権現川でございます。確か何種類かイ

議事詳細

エローゾーンの元になる要因が規定されていますが、今回の南中学校に掛かっているのは、土石流ということになっております。

2点目の現状の規制について、南中学校が廃校になった以降に、一時遊休施設ということで利用はしていなかったのですが、今年の夏から現状の運動場は、申請していただけたら市民の皆様にご利用できるような形で、運営を再開させていただいたところですが。そのため、日常的な利用は可能ですが、例えば大雨や台風が続く場合は、他の屋外施設と同様に、その日に限り使用を停止するという形で、事前に荒天の情報が入っていれば、規制をかけることで、その施設の利用者に対する安全性を確保していくことに努めているところでございます。

3点目の南中学校の学区について、現状の校区の概略図というものがございまして、後程コピーを取って配付させていただくという形にさせていただけたらと思いますが、よろしいでしょうか。

小田切委員長

はい、そうですね、間に合うのであれば、資料配付いただければと思います。

佐々木委員

はい、ありがとうございます。権現川とは資料のイエローゾーンの下部に流れている川ですかね。非常に何か由緒ある名称で、多分上流に色々なものがあるのでしょうか。ここを南下して、下の方が浸水危険地域といいますか、ブルーのところ。これも全部、基本的には、権現川起因ですよ。そして黄色の部分が土砂災害ということになると、龍尾寺周辺から一気に土砂が流れ込むということですよ。そういう、シナリオがあるのかなと思います。だから、水は南の方に流れるけれども、土砂の危険性があるということでグラウンドの半分ぐらいまでをリスクの高

議事詳細

小田切委員長

いエリアとされていると、そういう理解でよろしいでしょうか。

はい。事務局お願いします。

事務局

私の方でももう一度確認させていただく必要があるかなと思っているのですが、今おっしゃられました浸水想定は、確か寝屋川の方の浸水を想定したものになっていたかと思います。改めて、その確認はさせていただきたいと思えます。

小田切委員長

関連でも結構ですし、また別の論点でも結構です。よろしくお願いいたします。

山口委員

一応説明の方は、お伺いしまして、以前の意見交換会のときにも、この内容でということで、皆さん周知はされていると思うのですが、私も南中学校は、こども太鼓で連れて行ったり、三味線で連れて行ったりして、守屋委員が言われましたように、思い入れのある学校なんですね。私が夏以前に見たときには、雑草が伸びて、まさに廃校状態そのものだったのですが、今事務局から夏から使用されているという説明されたので、それは納得したのですが、ただ、738万円ほど使われて、活断層調査をされたわけですね。私たち市民にとっては、去年、南中学校は改めて活断層の問題が降って湧いたんですね。活断層が通っているから、危ない地域やないかと。また今、土砂災害についても言われています。これまたすごいとこやなと思います。私は違う地域ですが、住んでらっしゃる地域の住

議事詳細

民の方は、風評被害がすごいと思うんですね。そこへ三田村教授が、怖いというか、専門家の意見をあげてらっしゃいまして、他2人の方も専門的な意見でおっしゃっています。その反面、活断層が動く可能性は、30年以内には0.1%ですか。自然災害っていうのはわからないですよ。活断層を外れているから建てて正解だとか、それももう自然相手ですので、まさに分からない状態ですね。そこへ今、南中学校跡地に何かを建てようやないか、ということで、いろいろと意見を出し合って進めていかないとだめなのですけど、まず風評被害への対応。地域の方に、こういう形で活断層から外れて建てるのなら心配ないよ、ということは、もう周知されているのかどうか、お伺いしたいです。

小田切委員長

はい。事務局お願いします。

事務局

我々、この南中学校跡地の整備に関して、市民の皆様と数々の意見交換会をさせていただいてきた経過がございます。今回の活断層の調査の結果をもとに、その敷地内の利用はできるという認識を持っており、当該地域の方におかれましても、こちらの地域に何らかの施設の整備を求められているというふうに考えております。こちらの地域につきましては、ご意見のとおり土砂災害警戒区域、活断層等が敷地内に走っておりますけれども、当該地域については十分に利活用できる、と認識しているため、ご質問いただいた時には、そのような答えをさせていただいている状況でございます。

山口委員

綺麗になってからの状態は見えてませんが、卒業された人や転校された人

議事詳細

が、無残な姿を見たらなんとなく心が痛むのではないかと以前の夏の時には見させていただきました。活断層ということで、去年すごく問題になりましたが、ただ素直に、市は緊急課題として、校舎の老朽化、校区のねじれ、小規模校の解消を、行政側が抱えている課題として住人の方に説明をしていただければ、活断層はそんなに風評被害になるようなことはなかったのではないかと残念に思います。問題が無ければこの跡地を利用していただいて、話を前に進めていかないと先の段階に進まないで、今までを糧に利用していただければと思います。

石井委員

市側に要望したいのですが、私共委員は10数名、20名もいかない状況ですので、検討会資料について、出来ればカラーコピー、特に地図に関しては危険地帯であるとか、イエローゾーンとかレッドゾーンとかは、この白黒では分かりません。せっかく大事な会議ですのに、この白黒では見にくいです。せめて委員だけでもカラーコピーしていただければありがたいなと思いますので、よろしくお願いいたします。

小田切委員長

はい。事務局の方で何か。

事務局

今、ご意見いただきました内容につきまして、今後の資料の方をカラーにできるように調整させていただきたいと思います。

小田切委員長

はい。お願いします。

## 議事詳細

市林委員

逆に、できるだけやっぱりお金を使わない方向がいいと思うので、今日はこのカラーの防災マップもいただけているので、私は白黒で十分だと思います。お茶も用意いただけているのですが、特にご準備をいただかなくても、みんな水筒を持って来ればいいかなと思います。四條畷はお金がないと聞いているので、節約していただけたらと思います。

大年委員

この会議は、やはり1回ごとに前向きに、何か市民に希望を与えるような会議にしたいと思います。ですから公民館の跡地に、楠風荘やら何やら全部を集めて、こういう素晴らしい施設を作りたいというような、具体的な計画が欲しいです。いつまでも南中学校がどうだ、予算がどうだとかいう目に見えない話ばかりをしていますと、全然希望が見えてこないわけです。

例えば、公民館の跡を5階建てにする。若い方がライブできるようなホールを作る。いろんな計画をね、もっと具体的な計画をして欲しいです。高齢者の方は、高齢施設に行きたいなと思っている間に体が弱って全然行けないかもわからないですよ。ですから私としては、公民館の跡に、5階建てとか6階建ての立派な建物をつくって、それから駐車場もちゃんと完備してほしいです。

人口が流出するとかおっしゃいますけどね、明石市なんかは色々な優遇するから、放っていても若い方が来るんですよ。だからもっとプラスに四條畷に行きたいな、と思うような具体的な計画を出さない限りは、人口が減るからってマイナス思考だと思います。

ですから、総合センターにすばらしい建物を建てる、若い方もライブしたけれ

## 議事詳細

ばできる。それからいろんな成人式ももちろんできるような大ホールもできる。立派なホールがないから、いろんな芸能人が来ないわけですね。成人式をしようと思ったら、サーティーホールを借りてくださいとかおっしゃいますが、市民活動への補助金を切られて、どうやってやるわけですか。それこそ無理です。

ですから私としましては、こういう再編計画を何回もするより、もっと具体的に、みんなが楽しく楽しくてたまらない、四條畷に本当に住んでよかった、四條畷にうちの親戚を呼びたいなというような施設が公民館の跡にできたら、そこが光り輝いて、皆寄ってきますよ。寄ってくるものがないから来ないんですよ。

いろんな補助金切られて、だんだん活動もしにくくなっております。そういうことでどうして四條畷に住んでよかったということになりますか。だから、いろんな施設とか建物も大事ですけど、みんながね心わくわくして、アートに溢れるようなまちを作っていただきたいと私は思います。ですから、もっと具体的に公民館の跡をどうするか、建築家の方をお願いしてどれぐらい費用かかるとか、そういうことをお願いしたいと思います。

小田切委員長

はい、ありがとうございます。お茶や、コピーどうするか、というちょっと具体的な話と、大年委員からご意見ありましたように、今後の検討会の方向性という論点と別々の議論があります。

最初のコピーや資料の配布に関しては何か事務局の方でありますか。資料はウェブでPDFでは配布されますか。検討会の議事録以外の資料は、カラーででしょうか。その辺も含めてもし何かあればお願いします。

議事詳細

事務局

まず再編検討会の資料について、お配りさせていただいているのはモノクロですが、今回の会議の開催にあたりましては、市のホームページにも会議資料として第1回の会議については掲載させていただいております。そちらはデータでございますので、カラーで確認するような状況でございますけれども、必ずしもホームページ等のインターネットの環境が整っておられない方もおられますので、必要に応じて、カラーコピーを望まれることがありましたら適宜対応できる場所は、対応させていただきたいと考えております。

小田切委員長

お茶の問題とかは結構いろんな検討会で問題になっていますが、この辺りに関して、何かあれば、どうぞお願いします。

事務局

お出しすることで心遣いが申し訳ないということで、ご負担をおかけしているようでしたら、差し控えさせていただきたいというふうには考えておりますけれども、やはり会議していく中で、いろいろ議論していく時にやはり喉が渇くこともあろうと思います。我々といたしましては、万全の体調で、ぜひ活発なご議論いただきたいという思いから出させてさせていただいておりますので、喉が渇くぐらいの活発なご議論をお願いしたいなというふうに考えております。

小田切委員長

はい、ありがとうございました。

今、大年委員からご提案いただいたように前向きに議論したいというのは、この検討会としてはもちろんそうだと思いますが、議論が終わった最後に私も申し上げようかと思っていたのですが、何回も同じことやっていると議論も停滞してき



## 議事詳細

事務局

ますので、具体的にはどういうことを今後していくか、もう少し具体的な論点を絞っていくことを次回以降はできればと思います。そういう形も含めて今日どういう論点があり得るかなど出していただければ、次回に向けてもう少し具体的に論点を絞っていく方向で進むと思います。今日、南中学校のところ具体的な案件になっておりますが、それも含めて、少し皆様から、抽象的に思っておられることでも結構ですし、何か個別に具体的なことでも結構ですので、お時間の許す限り、ご意見いただければと思います。よろしくお願いいたします。

先ほどの校区の資料について、一度教育委員会の方に確認させていただいてから、次回の時に配布という形をお願いさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

佐々木委員

事務局の事情は勘案させていただきたいと思います。

それで大年委員から非常に前向きな話が出まして、最終的には、やはりそれが大きなテーマになるんじゃないかなというふうに思います。それを同時に考えていくということもプロセスとして必要かな、というふうに思うのですが、ちょっと思ったのは、今、(地図上の警戒区域の表記として)黄色があり、青があり、それから赤がありということで、いろいろな観点からのリスクがあるということから、マルチにセーフティネットをしっかりとつくと駄目かな、というふうに思います。住宅でよく使う言葉ですけど、災害に対するセーフティネットです。

青の箇所が万一寝屋川由来という話であるとする、こちらの方は安全なときもあるとか、逆の場合もあるし、全体がやられる場合もあります。避難所拠点

## 議事詳細

や、逃げる場所というのは、あちこちにある方が良く、ネットワーク的に考えないと駄目じゃないかなと思います。これはあちこちで謳われつつあります。そうすると、南中学校部分が何かを引き受けるということは非常に価値があるし、それで安心感を覚えれば、そこを拠点にできるということをスタートに、もっと盛り上げる施設展開をしようじゃないかという前向きな話も生まれるのではないかと、と思います。

だから、やはり校区全体を睨んでいくことはが必要になったりしますし、同時に他のところには何があったほうがいいのか、ということを考える中で色んな整備も進むと思うので、こだわりますけれども、校区情報などを具体的に頂ければ、非常にヒントになるのではないかな、と思いました。それから今後の進め方についてもいろいろと可能性を感じました。

小田切委員長

資料については次回までにご準備をいただければと思います。

よろしく願いいたします。他の皆様、いかがでしょうか。

山口委員

今日の次第の中で、南中学校跡地についてということで資料が入っていましたので、南中学校跡地について先ほど私意見述べさせていただきました。私も大年委員と一緒に、話を先に進めない、と思っていました。具体的に南中学校跡地にどのような形の市民が交流する場所を作ったらいいのかという論点で進めるのであれば、私はこの検討対象施設の中で、教育文化センター、老人福祉センター楠風荘、福祉コミュニティーセンターなんかは、市民の交流場所として良いのではないかなと思っております。というのは、学校がなくなることにより、南

議事詳細

の方は高齢化がなおさら進むと思うんですね。だから、障がい者や色んな方のためにも、市民が交流する場というような形で整備していただきたい。楠風荘について、以前の計画でしたら、ただ持ってきてお風呂は付けないよと、ただもう集合させようという形で聞いたことがあります。お風呂というのも老人の憩いの場となります。西の方ですか、暇の里やイオンで結構活気づいているのですが、南の方にもそういったお風呂なんかがありましたら、災害の時なども利用できるのではないかなと思いますし、その維持費が大変でしたら、高い料金は取れませんが、いくらかは市民から頂くなど、少しのお金で皆さん市民が喜んでくださるんでしたら、そういう形で後々潤うような施設の建て方も必要ではないかなと思います。

行政から、まず若い人にツケを回せないということを、何回も、耳にたこができるほど聞いておりますが、今の40代50代、60代世代の方、市民の税金を納めている、一生懸命働いている方々にとって夢のない施設を建てていくことだけは避けてもらいたいですね。そういう夢のない現状、若い人にツケを回さないように削減して、財源に合わしていくというのは、筋が違うかなと思っております。大年委員が言われましたように、他市からもあそこ良いで、という感じで口コミが広がれば、また市の方に潤いが入ってきますので、そういう点も考えて先々、進めていきたいなと思っております。よろしく願いいたします。

小田切委員長

はい、ありがとうございます。

石井委員

実をいうと私、市老連の管理もやっておりまして、南中学校のグラウンドで毎

## 議事詳細

週月曜日にグラウンドゴルフをやらせてもらっているのですが、当初20名足らずが、今では、45、6人来ていただいております。非常にグラウンドが広くて、非常に綺麗で、皆さんの協力で整地していただきまして、非常に使いやすくなっております。

ただ、意見が出たのは、今は校舎のトイレを使わせてもらっているのですが、校舎の中が、せっかく耐震補強してあるのにトイレしか使わせてもらってないと。今は道具の置く場所もちょっとないのでね、道具を1回1回運ばなきゃならないと。例えば校舎内に道具を置く場所があれば、まだまだグラウンドゴルフの人口は増えていくし、それからそのグラウンドの様子もみんなに分かってもらえる。ということは、グラウンドだけじゃなくて、例えば、確か耐震補強してある校舎ですから、今の何も使っていない状況ですので、高齢者向け、或いは福祉関係のバリアフリーで自由に入出入りできるように出来ないですか。そんなにお金がかかるものではないとは思いますが、普通どこでもそうですが、使わないと傷んでいくんですよ、家でもそうです。教室を使うことによって、皆さん使い終わった後に掃除もするし。だけど今の学校の状況では、使っていないところはねやっぱり埃っぽくなって汚れていますので、せっかくあるものをもっといろんな方面で活用できるようにしていただきたいと思っています。その辺の、市としての今後の活用方法として、どういうふうにされるのかなと、思います。

小田切委員長

はい、ありがとうございます。事務局お願いします。

事務局

只今のご質問に関して、本日事務局の方から南中学校跡地の敷地の特性

議事詳細

について活断層と、イエローゾーンのご説明をさせていただきました。本日は委員の皆様から、南中学校跡地の土地の利活用についてご意見を頂いているところでございます。

前回の会議を振り返りますと、南中学校跡地に活断層があるので危険ではないか、果たして使って大丈夫なのかといったご意見を頂いていたため、今回このような資料を作らせていただいた経過があります。

そこで、我々としても確認させていただきたい点が1点ございます。南中学校跡地を公共施設の用地として利活用できるか、というところの議論については、利活用していくということを前提にご意見を頂けているのかどうなのかというところですが、こちらの敷地についてどう考えていくか、検討会の答えがあった後に、利活用（整備する施設などを）どうしていくか展開させていただく方が良いのかな、と考えております。

事務局の意見だけ先に述べさせていただいてもよろしいですか。

小田切委員長

審議にしますか。もしくはそれも踏まえて、次回以降の展開という形としますか。

事務局

今事務局の方で、この敷地も含めて活断層の周期も踏まえた上で、南中学校跡地を使っていきたいという思いについては、ご説明させていただいたところですが、委員の皆様が、それを受けてこの敷地のことをどう考えておられるか、というところを少しご意見聞かせていただけたらと考えております。跡地を使っていくという前提のもとで、校舎をどうしたら良いか、ここに施設集めたら良い

議事詳細

小田切委員長

などの意見が頂けているのでしたら良いですが、やはり危険ではないかという委員の方のご意見もあるようでしたら、この敷地の考え方というのをもう一度整理したほうが良いのかな、と思いました次第です。

先程の佐々木委員からの資料請求等もあった関係から、今日何か結論を出すのは難しいと思いますので、今の事務局からのお話も含めて、関連のものでも、また別の論点でも結構ですので、引き続きご意見いただく時間を取ってきたいと思います。

市林委員

これだけ大きな土地が四條畷の割と平たんなところに残っているっていう場所は、他にはないと思いますし、南中学校跡地が何か新しいすてきなものになるのではないかと期待感も込めて、南中学校跡地は整備していただきたいと私は思っています。

小田切委員長

はい、ありがとうございます。

三輪委員

今朝、南中学校跡地を私も見学させてもらいに行ってみまして、市林委員と本当に同じような意見を持っています。

先ほど委員長から話があり、論点整理は今回きちんとした上で、次回以降で具体的な、それぞれの骨格議論に入っていかうという話でしたので、前回は論点として挙げさせていただいた視点について、ご説明できたらなと思い、資料を作ってきましたが、配ってもよろしいでしょうか。

## 議事詳細

小田切委員長

皆さんの分、ご準備いただいていますかね。

それではお配りいただいた上でご説明お願いできればと思います。

三輪委員

資料に基づいてご説明させていただきたいと思います。

今、大年委員の方からいわゆる後ろ向きになるのではなくて、人を呼び込むようなまちにしていくことが大事だ、という非常に前向きな意見を頂戴し、私もまさに同感でございます。

もともと公共施設の再編についての論点として、長期の人口動態はやはり見る必要があります。また、当然投資余力みたいなものを考えて、具体的に可能な再編を考えなくてはなりません。それを基にして総合管理計画の基本方針ができ上がっている、というふうに理解をしています。それは先ほどもあった世代間コミュニティが繋がる魅力あるまち、災害に強い住みよいまち、それから次世代に負荷、負担を先送りしない自立的なまち。いわゆる若い世代、次の世代にその負担を先送りするのではないということを考えると、この地方創生の構想やスマートシティの構想、特に四條畷市はスマートシティの名乗りをあげているまちでございますので、こういうところとやはり連携をある程度する必要があるのではないかなと考えます。

次に、いわゆる現状12億円かかる投資費用を7億円に圧縮と、何らかのその投資をやはり抑制しながら魅力あるまちづくりをしていく必要があります。そのために、五つの取り組みの視点というのが今現在設定されていると理解をしています。それは、総施設量、床面積を最適化する、或いはコンパクトな市に見合う

## 議事詳細

施設の再配置をする、利用状況やコストを勘案した効率的な施設とする、誰もが利用できる魅力ある複合施設にする、学校跡地における安心安全の確保、にぎわい創出をする、と考え方としては、先ほど委員の皆様からご指摘のあったことが実際に書かれてはいます。だから、私の方からは前回申し上げたいいわゆる民間活用というものをもっと積極的にやったらいかがでしょうか、ということをご提案申し上げたいと思います。

民間活用と言いましてもいろんな形があり、参考になるものを幾つか書かせていただいております、一つは、稼ぐまちづくり入門編というものです。やはり公共施設だからすべてコスト、という見方ではなくて、投資をして、そこに人が呼び込まれてきて、そこで実際にビジネスが起こってというような、いわゆる稼げる形を考えたらいかがですか、という視点でございます。

二つ目は、国が進めているPPP（パブリックプライベートパートナーシップ）やPFI（プライベートファイナンスイニシアティブ）と呼ばれているスキームです。例えば、公共施設だけど運営を民間がやる、或いは、公共施設の跡地で建てるのは民間が建てて一部は公共施設として使うなど、様々な民間と公共施設のコラボレーションのあり方というものが出ており、それを国が結構推進しております。そういう国のスキームに乗った上でうまく知見を利用したり、補助金を利用したりしながら、このPFIで、先程挙げた魅力あるホールをつくる、そこに商業施設やビジネスが入る、インキュベーションセンターができるなど、そういうことをやっていったらいかがでしょうかという話です。

シェアエコノミーについて、今ある公共施設についてもスペースが空いている時は他の人が使えるようにして良いという考え方から、シェア型で使っていける



## 議事詳細

ようなスキームやサービスがでてきています。例えばお寺の本堂を1日借りる等ができるように、シェアエコノミーで広げているのです。こういうところを入れていくというのも一つの視点かもしれない、という話でございます。

民活という視点を入れた上で、やはり場所ごとに必要な施設というものもきっとあるでしょう。この国道163号沿いは、シビックエリアで公共施設が結構集まっている部分があるわけですが、そこに病院の機能を持たせるべきか、という問いもあるかと思います。或いは、駅前に今土地がありますが、これは今回の検討対象施設の中にありますが、現在は駐車場としてタイムズさんに貸してもらい、利用されています。ここは本当に駅前の近くですから、商業施設や保育所が入っている複合施設を、それこそ民間が建てるというようなこともあり得るのではないかと思います。民活がやりやすい場所であると思いますし、検討できるのではないかと考えています。

それから佐々木委員の方にありましたように、公園だとか避難所だとかは一定の場所がないと難しい施設機能だと思います。全体を見渡した上で、どこに避難機能を持たせるかについては、必ずしも学校だけでなく良いので、様々な公共施設に避難場としての機能を持たせることも検討していけるのではないのでしょうか。

さらには、先ほどの平時・有事の機能、コロナ共存時の避難所のあり方や活断層の話は、今回いろんな形で議論したと思いますが、前回申しあげましたように、平時は物流拠点として、有事はその物流拠点の物資も救援物資に使ってしまえるような複合施設などが考えられるのではないのでしょうか。南中学校跡地のすぐ前に、もう一つある教育文化センターも、今回の検討の対象施設ですが、物

## 議事詳細

流拠点になるのかもしれないなと思ってみたわけです。

最後に言いたいのは、先程挙げたPPP、PFIや再開発、シェアエコノミーの話ですが、この四條畷市は、大阪の真ん中で都心に近く、便利で且つ自然もあるという、これが驚くべき価値なのではないかということです。田原地区に行けば学園都市という側面があって、またこれも価値が高いと思います。実は市が持っている市街地、山間部で、もっと言えば縄文時代からの歴史がある。これはすごいこととして、実はものすごく人を集められる価値が、潜在的にあるのではないかと思います。市民の方には無料、格安で使っていただいて、市外の方からは、それ相応の料金を貰えるようなモデルもつくれるのではないか、今の施設であっても少し整備した上で貸し出せるのではないかと、と少し妄想いたしまして、今回の論点として、ぜひ皆様と合わせさせていただきたかったということでございます。以上でございます。

小田切委員長

ありがとうございます。

事務局

はい。先ほど三輪委員から頂いた資料ですが、今後、委員の皆様から、このような形で出てきた資料の取り扱いについて、ご教授いただけたらと思います。

小田切委員長

前後してしまいましたが、今、三輪委員から資料提供ということで共有をさせていただいておりますが、今後も含めてそれぞれ皆様から何か資料を共有したい、或いは、情報提供いただけるようなものは、基本的にこの会の中で共有をさせていただけると、そういうような形で進めさせていただいてもよろしいですか。そ

議事詳細

	<p>の場合、ご自身でご用意いただくのも結構ですし、事前に事務局に送っていただいたら、そこで準備をしていただくというような形で進めさせていただいてよろしいですか。基本的には、何か手続き等、特に問題ないですね。</p>
事務局	<p>はい。</p> <p>もう1点確認させていただきたいのですが、今お配りさせていただいたのは委員皆様だけでございます。例えば今回のように傍聴に来られた方がおられた場合の配布の有無や、検討会の議事については、基本公開していくということにしておりますが、例えば市のホームページに、もともと我々が用意した配付資料とともに添付させていただいて良いかどうか、というところについても少しご議論いただけたらと思います。</p>
小田切委員長	<p>そうですね、公開というところもありますので、それぞれお持ちいただく方にご判断いただくという形で。ただ、委員だけに内密にしてくださいみたいな資料があるかどうかちょっとわかりませんが、そういう形でよろしいでしょうか。</p>
市林委員	<p>NECと出されているのですが、会社として、例えば四條畷市がNECさんの方に、依頼をしてきていただいているのでしょうか。</p>
小田切委員長	<p>それについて事務局お願いします。</p>
事務局	<p>第1回検討会におきまして、委員名簿を配布させていただいたかと思えます。</p>

議事詳細

三輪委員につきましては、市長が適当と認めるものという区分からご参加いただいております。今回特に分類で分けますと学識の方、公共施設の関係団体の方、市民公募の方、その他市長が適当と認めるものというこの四つの区分がございまして、今回三輪委員がNECソリューションイノベータ株式会社からご出席いただいておりますが、(こちらの企業は)田原で現在、日本一前向きコンソーシアムということで、いろいろと田原を活性化していくために立ち上げたコンソーシアムを構成されている企業の一つになります。地域のまちづくりを企業として担われている部分がございます、公共施設の再編ということを考えていく上で、民間の力を活用してよりよく社会課題を解決していくという側面もございまして、そういう立場からもご出席いただければ、よりよい議論にはなるのではないかなということで、こちらにご参加いただいたという経過でございます。

小田切委員長

よろしいですか。

市林委員

ここにいらっしゃる皆さんもそれは承知されると思うのですが、この資料が仮にホームページに出たときに、何かNECさんが介入してやっておられるのかな、というイメージを取られかねないかなと少し思いました。

小田切委員長

はい、ありがとうございます。非常に重要なポイントかと思いますが、資料配布や情報共有、公開について何か皆さんの方で、ご意見やお考えがあれば、ぜひお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

議事詳細

山口委員

公開することはものすごく大事なことだと思います。公開するということは、一般の市民の方から見た場合に、こういうふうになるのかっていう方々もいらっしゃるかもわかりませんし。

公開する仕様については十分検討されてからの方が良いかなと思います。

三輪委員

もし、そのNECという企業色が、あらぬ疑いを招くようであればNECのフォーマットを外した形で、差し替えさせていただきます。オープンにして問題ない状況に差し替えるということは、やぶさかではございません。

小田切委員長

はい、ありがとうございます。他にどうぞ。

小寺副委員長

この検討の方向について、納得しました。私もこの話（民活関連）を2年前に聞いてから、「儲けたらあかんやろうけども稼げ」という言葉ね、これが大事で、そっちの方向で考えてやっていこうとは言っていました。それと、いろんな考え方の中で、市民サービスが抜けてしまっている。何のためにシェアリングするのか、何のために広域化するのか、そこを抜かしたら市民が捨てられてしまうんですよ。その辺の市民サービスを主語に盛り込み、前に出して、改革なり検討していただければと思っております。

それと、石井委員のグラウンドの話ですが、実は、管轄が今の施設再編室でずっと進めています。僕たちが携わっているのは、そのグラウンドだけを利用するという話で、教育委員会の生涯学習推進課と縦割りで、何とかしてほしいと言っているのです、もう少し我慢してください。せっかくあげてもらったのですが、使

議事詳細

小田切委員長

いづらいですよね。

すみません、急遽なんですが一応決議という形で、確認を今から2点させていただきたいと思います。

まずは委員の皆様から、三輪委員がお配りいただいたように、何かしら会議に有益な資料等をご提案いただくことに関して、自由に毎回あって良いということ、進めさせていただいてよろしいでしょうか。

各委員

<異議なし>

小田切委員長

はい。ありがとうございます。

この点については、もし皆様の方で何か情報等あれば、次回以降もぜひ、ご提案いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

次、資料の公開に関してですが、それぞれ提出された資料の内容にもよると思いますので、ホームページでの公開においては著作権や会社名等も配慮した上で、原則公開していく形でまとめさせていただけると良いかな、と思いますが、この点に関してはいかがでしょうか。

各委員

<異議なし>

小田切委員長

原則、内輪の資料にならないように公開し、市民の皆様にも広く見ていただける方が良くと思いますので、できる限り公開できる形でお願いします。それぞ

議事詳細

	<p>れの資料は、内容が異なってくると思いますので、その都度判断をしながら、ご提案していくというような形でよろしいでしょうか。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>ここに出される段階で、事務局と委員長、副委員長の方で検討いただいて、体裁を整えて出してもらおうと、案外スムーズに行くのではないかと思います。</p>
<p>小田切委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。そうですね。事前のチェックももちろんさせていただいて、要はここに出た段階で、誰に公開しても大丈夫という状況で議論ができると、一番良いかなと思いますので、その形で今後も進めさせていただければと思います。</p>
<p>守屋委員</p>	<p>私、イオンがすごく行きやすく、利用しやすいです。イオンに市役所や保育園持っていくことはできるのでしょうか。イオンを利用すると、案外部屋も空いているみたいですし、良いと思うのですが。</p> <p>それと防災マップのことですが、清滝団地に住んでおりますが、水害や地震があっても多分大丈夫でしょう。僕は絶対避難所に行くことができないし、清滝団地の人はおじいさんおばあさんが多いので、下手に逃げないでくださいと流して欲しいな、と思っています。</p>
<p>小田切委員長</p>	<p>はい。お願いします。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>清滝には電通大のキャンパスがあり、ぜひ利用していただければ、十分配慮</p>

## 議事詳細

するようにします。もし必要であれば、建築的にも検討できますので、いろいろご意見ください。

小田切委員長

いかがでしょうかね。まだご発言されてない方で、ご意見ありますでしょうか。

田中委員

先ほどから、山口委員や大年委員のご意見を聞いて、前向きな話をするということで非常に良いなと思っています。というのも、実は断層の話が、確率的に、0~0.1、0.3%ということで、50年という長さで、建物の更新を考えて税金を投資するにしても、あまりにもスケールが違う話ですので、あまりよろしくないというのが正直なところでは。今、世界中の公共施設は大体確率的に言うと100分の1、50分の1のリスクで作っている中で、今ここで議論している断層は、1000分の1、1万分の1の世界ですので、そんなスケールで我々の今生きている場所を議論するのはあまりよくないのかなと。

ただ、やはり断層上に置くのはあまりよろしくないもので、少し配慮して考えてもらうというのが、一番良いかと思います。逆に今、神戸県立大学の室崎先生のコメントが先ほど事務局からありました。神戸はミュージアムや防災の啓発施設を作っていますが、あそこまで大掛かりにしなくても良いので、例えば、四條畷市民の方、子どもたちに対して、断層があることや土砂災害がひよっとしたらあるかもしれないこと、寝屋川が氾濫するかもしれないこと、権現川が破断するかもしれないことなどを、意識づけることを裏の目的として、断層部分を少し工夫した公園にするなど、知らず知らずのうちに防災学習をしているような施設や、先程の大年委員や山口委員、三輪委員のアイデア、要するに人が集まれる、楽し



## 議事詳細

めるような施設、というところを考えていけば良いのかなというふうに思っていました。

実際、私も防災についても研究をしているのですが、やはり東日本大震災以前からもそうですが、防災と言うと、みんなネガティブ、消極的になってしまうので、「防災と言わない防災」、結果的に防災になればいい、というような考え方です。先程のお風呂の話にしても、防災のためにお風呂を作ると言っても誰も魅力は感じないわけです。普段から楽しめて、コミュニケーションをとることができるお風呂を作ることが、結果的に何か起きたときに使える、というのが結果的な防災になるという考え方だと思います。

今別のところで取組んでいますが、高齢者の方、半身不随の方もひっくるめて、自分のできる散歩や家の前に出ることを日常からやっていきましょう、というような取組みをして、結果的に、何か洪水等が起きたときに動けるような体力づくりを、公民館を軸に裏防災として実施しています。住民さんには一切防災と言わず、料理教室もやっていますが、そういう集まれる施設を考えていけば良いのかな、というふうに思います。

三輪委員の方向性は結構ビジネスチックなので、その方が難しいところもあり、良い面も悪い面もまだある中で、例えば水道の話でいくと、なかなかうまくいっていないところもあります。上水道を民間の投資でしても、うまく市民にサービスが行き届かないとか、民間企業はちょっと経営が傾いてくると、水道が止まるという恐ろしいことになりもなりかねない、ということもあって、なかなか難しい部分があります。でも多分この折衷案というのが、僕はこの日本の中で今後30年間から50年間ぐらいで、日本人に馴染んだ形で、例えば地域だってお金が回る

議事詳細

	<p>ぐらいの規模のもの、というのを考えていったほうがいいのかと、そういうふうにも私も皆さんの日常生活における要望やアイデアが、今回の公共施設の再編にすごくいいアイデアになるのかもしれないのかな、というふうに聞いていて感じました。</p> <p>そこで一つ、事務局の方に質問ですが、個別の施設の粗々でもいいので、案というのは今段階であるんでしょうか。</p>
小田切委員長	<p>はい。お願いします。</p>
事務局	<p>以前に計画していた案というものはありますが、現時点でこちらの方で作成している案はございません。といいますのも、こちらの検討会の中で議論いただいた内容を踏まえ、展開していきたいというふうに考えている次第でございます。</p>
田中委員	<p>先程、大年委員からも具体的にどんなものができるのか、というご質問がありましたので、図面はいらないと思いますが、例えば、このような目的があるので、このような機能を持たせたら良いのではないかと、というような、表1枚でも良いので、たたき台があると、多分ここに集まっている委員の方もいろいろ意見が言えるのかな、というふうに思います。何かそんなものを、次回か、その次ぐらいに用意していただければと思ったのですが、いかがでしょうか。</p>
小田切委員長	<p>はい、事務局お願いします。</p>
事務局	<p>今頂いた意見について、今回検討会の支援業者も同席させていただいており</p>

議事詳細

ますので、例えば議論の過程の中に、この施設、場所に、このような建物を建てたらどういったイメージになるか、というのは簡単なイラスト的なもので整理はできるかと思います。そういった資料もつくりながら、より議論を深めていってもらうことは、対応できるかなと考えております。

小田切委員長

次回以降、ご準備いただけるようにいただければと思います、よろしいでしょうか。

事務局

はい。そういった対応は可能でございますので、例えばこういう場所に、こういった施設を集めては、といったご意見を頂ければと思いますがいかがでしょうか。

大年委員

やはり、そちら（四條畷市）の方向が決まってないので、そういう意見が欲しいっておっしゃったわけですね。ですから私の意見ですが、公民館の跡地の方に、いろんな施設、バラバラになっている施設を集めて、そこが四條畷の中心になるような会館にして欲しいです。

要するに市の方が、具体的でないので、何回こんな会議しても一緒だと思います。ですから私の意見としましては、公民館の後に、5階建てでも6階建てでもいいですから、しっかりした建物を建てて、いろんな施設を集約して、あそこに行けば何かがあるっていうような、そんな施設と駐車場も、公民館の跡に整備・管理してもらいたいと思っています。民俗資料館も、大型バスも止まらず、すごく交通の便が悪いので行きにくいです。バラバラになっている施設を一極集中にす

## 議事詳細

る。あそこ行けば何かがある、年寄りが一人で来て楽しい、何か楽しい、とそういう具体的な施設を作ってもらいたいですし、それを目に見える形にしていきたいです。具体的に考えないと何も始まりません。

若い方は、ライブハウスもライブができないから他に行かれます。大きい声出してドラム叩いてワーツとなるような施設を建てたら、若い子が元気になります。市の方も一生懸命やってくれているのはわかりますが、頭で考えなくて、心がそこに向くような、もっと内面から考えて欲しいです。本当に市民の立場に立って考えていただきたいです。

市会議員の方は、本当に市を代表していることをもっと自覚していただいて、しっかりした議会にして欲しいと思います。素晴らしい市になると思います。市会議員の方は、みんなに選ばれたのだから、もっともっと率先して、自覚してやってもらいたいです。みんなの意見を聞くのも良いですけど、やはり市民のためというところを中心にしてもらったら、いろんな考えがまとまっていくと思います。私本当に勝手なことばかり言いますが、四條畷市は、本当に住みよい、素晴らしい市だと思います。だから、皆さん一丸となって、こんな小さい市ですので、頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

小田切委員長

ありがとうございます。

事務局

先程の大年委員の意見について、整理させていただきたい点がございます。

今回は再編検討会というところで、この検討会を設置させていただいております。第1回の検討会の設置目的というところでご説明させていただいたんですけ

議事詳細

れども、中長期的な視点に立った適正な公共施設の配置や規模に関して、多角的な視点から、今後の公共施設のあり方について必要な事項を検討するために今回、検討会というのを設置させていただいており、ここでご議論いただくために、我々事務局の方はサポートさせていただきたいというふうに考えております。

あくまで、市から何か案を提示して、ご議論いただくという形ではなく、検討会でご議論いただくために必要な事項が何かあれば、我々から提案や必要な支援をさせていただくというような形で、進めていただくものと認識しております。そこだけ補足させていただきたいと思います。

小田切委員長

はい。ありがとうございます。

もちろん大年委員がおっしゃったように、どちらが主体的にあるというより、そこはあまり分けしなくても、一緒に会議をしている中で議論が煮詰まっていけばいいと思います。こちらからも、市の方に提案しますし、市の方からも情報提供や提案を頂けたら良いと思いますので、進め方としてはそういう形で進めさせていただければと思います。

他の委員の皆様はいかがでしょう。

長谷委員

私は田原に住んでいて、あまりこちら側に来ないので、あまりこういう施設とかも、実は活用したことがないなというのがまず一つあります。

また、田原に住んでいるので、ピンポイントになりますが、グリーンホール田原という施設がありますが、やはり学生とか、大学生、高校生になるとそういったも

議事詳細

	<p>のをあまり活用してないので、個人的には、ジムや料理教室などがあると、若い人にとっては活用しやすいのではないかなという風に思います。グリーンホール田原の貸部屋の利用率が低いということがあるので、そういうものや施設をつくっていただけるのでしょうか。</p>
<p>小田切委員長</p>	<p>事務局、お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>頂いた意見をもとに、整備をさせていただきます、という答えを確約するのは難しいですけど、今回頂いた意見につきましては、庁内でも議論する場を設けておりますので、広くお考えを皆様から頂きたいと思います。そのような観点の気づきというものは、我々に教えていただきたい点もございますので、そういった意見につきましては一度持ち帰って、庁内の方でも議論してまいりたいと思います。</p>
<p>小田切委員長</p>	<p>他、いかがでしょうか。</p>
<p>福井委員</p>	<p>私は、南中学校の校区で、南小学校周辺に住んでいますが、今、南中学校が廃校し、私の地区は四條畷中学校になるという話になり、結局は西中学校に代わりましたが、かなり学校までが遠いという話になりました。</p> <p>PTAの代表として来ていますので、学校関係の意見になりますが、結果的には南中学校が廃校、東小学校も統合になった中で、四條畷市として、例えば小中一貫校をつくるなど、他の市や大阪府にリードできるような、何か魅力的な学</p>

議事詳細

	<p>校関係の施設を作っただけならな、と個人的にはすごく思っています。そうすれば他のところからも、四條畷市の学校に通いたい、というふう若い世代が入ってくるのかなと思うので、その辺も今後の議論に入れていただきたいかなと思います。</p>
小田切委員長	<p>ありがとうございます。</p>
石井委員	<p>私も田原に今住んでいますが、この四條畷市は、田原台の造成した時に、四條畷市或いは奈良県生駒市を含めて、「関西学術研究都市」という名前となっています。今もその名称のはずですが、せっかくの立派な名前を頂いているのに、看板も少なく、実際に国道で見られるのは外環の側道に入った左にひとつ看板があるくらいしかありません。せっかく国が指定している都市なので、もっとPRして、もっと充実した教育関係を立ち上げるべきだと思います。話聞いていると、統廃合や廃校という寂しい話ばかりなので、大きな大学を誘致して作る、或いは研究施設をつくるとか、そのようなもっと前向きな方向でお願いしたいと思っています。</p>
小田切委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>例えば、次回までにこういう資料欲しいなどがもしあれば、最後にお伺いしたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
各委員	<p>&lt;特に意見等なし&gt;</p>

議事詳細

小田切委員長

では、皆様ありがとうございました。

途中で申し上げましたが、次が3回目になります。前回と今回で皆さんから非常に重要なご意見たくさん出ておりますので、少しは私の方で論点、どういうことを今後議論していくべきかというポイントを整理させていただいて、副委員長ともご相談しながら、次回以降はどういうことを議論していったら良いかというのをお示した上で、3回目の議論に入る形で進めさせていただければと思います。本来その議論もこの検討会でやったほうが良いと思うのですが、時間的な関係もありますので、たたき台を私の方で作らせていただきますので、次回以降それをもとに議論を進めさせていただくという形でお願いできればと思います。

もう1点最後のその他ということで、議題がありますので事務局の方からご説明をいただければと思います。よろしく申し上げます。

第3 その他

事務局

はい。2点ございます。1点目が市民団体より公共施設再編検討会宛に四條畷市公共施設再編検討会の運営についての意見書が出されましたので、事務局にて受領いたしました。そのことについてまずご報告をさせていただきます。この意見書及び参考資料につきまして委員の皆様にお配りをさせていただいても、よろしいでしょうか。

小田切委員長

はい、お配りください。お願いします。

先程この委員会での資料配布についてはご議論いただいたのですが、いわ



## 議事詳細

事務局

ゆるこの委員会の委員の皆様以外の方からの資料をどのようにこの検討会で扱うかということについては、合意が必要かと思えます。これも次回皆様にご議論をいただければと思っておりますので、皆さん全員、おめ通しいただければと思います。

続きまして2点目ですが、次回以降の公共施設再編検討会の日程について、お知らせをさせていただきます。

先日、委員の皆様には日程調整をさせていただいた結果、次回第3回は11月7日土曜日14時から、その次の第4回は12月7日月曜日18時からとなりましたので、お知らせをさせていただきます。なお、会場につきましては本日と同じく、こちら市役所本館の3階委員会室にて開催をさせていただきますので、委員の皆様におかれましてはご多忙とは存じますが、何卒ご出席のほどよろしくお願いいたします。

また、本検討会の様子や内容につきまして市民の方に幅広くお伝えするため、12月号広報誌に再編検討会の特集を組む予定でございます。つきましては、次回第3回の検討会の際に、検討会の様子を広報担当課とカメラマンが同席させて撮影をさせていただきたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

第5回の検討会につきましては、また日程調整をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

議事詳細

小田切委員長	<p>今日予定しておりました内容は以上ですが、付け加えて何かありますでしょうか。</p>
各委員	<p>&lt;特に意見等なし&gt;</p>
小田切委員長	<p>では、本日の議案は以上になりますので、事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>本日は大変貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。それでは次回は11月7日土曜日14時からです。令和2年度第2回四條畷市公共施設再編検討会をこれにて終了いたします。ありがとうございました。</p>